

第14回放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成25年7月17日 18時30分開始

2. 開催場所 FMぎんが1階多目的スペース

3. 委員の出席

委員総数 8名

委員出席 7名

出席委員の氏名 井手聡委員長 中間隆志委員 加藤俊文委員 下吉秀知委員

吉見満雄委員 藤崎剛委員 牧眞弘委員

放送事業者側出席者 中崎宗治代表取締役社長 中崎啓文局長 濱田英作

4. 議題 ①これまでに頂いた意見、答申に対しとった措置などの報告
②番組全体についての意見交換

5. 議事の概要

これまでに頂いた意見、答申などに対してとった措置を報告するとともに、全体的な番組に関する意見を頂いた。

6. 審議内容

中崎局長 これまでに頂いた意見、答申に対してとった措置などについて報告した。

- ・あまみエフエム理事長の麓憲吾さんが来局。
- ・中国花火大会実行委員会への出席。
- ・緑丘夏祭り実行委員会への出席。
- ・南日本新聞の取材あり。7/16に西伊敷地域の記事として掲載。
- ・西伊敷成人学級（灯籠作り）への参加。
- ・地元在住のパーソナリティ候補についての説明。
- ・商店街のイベントPR等に関して商店街通り会との連携を協議。
- ・地元のソフトボール協会との連携を協議。
- ・ゲストブック記帳について現在の状況を説明。

中崎社長 緊急放送に対応した高感度のラジオ受信機をメーカーと共同で開発中です。
(試作機で各機能を説明。)

吉見委員 市内のFM局が全部入るのは良いですね。市内の局で合同で開発して、なおかつ「市の災害情報が入る」という事で市にも開発に加わってもらえれば、開発・販売コストが抑えられるのではないのでしょうか。

中崎社長 共同で開発・販売をすると、どこの局のチャンネルに緊急信号を入れるかという部分が問題になってきます。

- 吉見委員 自局で開発して自局の緊急信号を入れるようにするか、もしくは緊急信号を各局で分割して30秒ずつ流すなどの手段はいかがでしょうか。
- 中崎社長 規模の小さな市町村でFM局が1局のところは市町村と連携して開発している例もあります。受信機については開発を続けながら仕様を検討します。
- 中崎社長 中継局については現在書類申請中です。
- 中間委員 中継局というのは他のコミュニティFM局で前例がありますか？
- 中崎社長 前例はありますが、現在我々が考えている技術を用いて中継をしている局は無いと認識しています。
- 加藤委員 以前、ある番組で商店街の人たちをゲストに呼ぶコーナーがありましたが、その後どうなりましたか？
- 中崎局長 次に出演頂く予定の方が多忙であったりの理由で、現在は休止中です。
- 井手委員長 出演した方が次の方を紹介する方式の方がうまく回るのでは？
- 中崎局長 毎週となると難しくなるので、月に一度のコーナーにしても良いかと考えています。今後、番組の担当者と協議して続けられる方法を検討します。また、パーソナリティは（局の所在地である）西伊敷近隣在住でない者も多く、そういう方は地域の細かな情報に関しては弱い部分があります。「地域の情報を得やすいのは地元の人」と考え、西伊敷在住の方数人にパーソナリティ候補として声をかけています。
- 加藤委員 商店街にこだわる必要はないのでは？
- 中崎局長 商店街通り会の方々とは普段から交流があるので、そこからの情報は得やすい状況ですが、その他の地域の方々からも情報を得るために、地域のイベントなどに出来るだけ積極的に参加して、地域と繋がりを作る努力をしています。
- 中崎局長 また、これまでの話と関連して、地域の情報を収集するレポーター（取材記者）の募集を考えています。
- 吉見委員 この「レポーター」にはどういう特徴の方が適していますか？
- 濱田英作 レポーターとしての特徴というよりも、地域の動きをされている方々と親交が深い方が適しているように思います。取材対象の要点を自分なりに整理できて、質問事項を考えて投げかけられるような方が理想ですが、それが難しい場合はスタッフがサポートする方向で考えています。

中崎社長 レポーターの育成に関しては、県域放送局から技術的な協力を得られるという話も出ています。

中崎局長 県域局も地域の細かな情報を探しており、こちらからは地域密着の情報を提供することで、今後とも様々な点で良い協力関係が築いていければと考えています。

井手委員長 今は地元の小学校、中学校でも情報部のようなものがあるので、そのあたりと連携をとってみてはどうか？

中崎局長 現在鹿児島工業の放送部が1時間の番組を持っているが、小中学校とも連携がとれるよう検討してみます。

吉見委員 子供たちが出演すれば、その祖父母がラジオを聞いてくれるようになります。

吉見委員 西伊敷から大人女子アイドルを作るという企画はどのような状況ですか？

中崎局長 生みの苦しみはありますが、9月7日の銀河ロードまつりでのデビューに向けて商店街通り会青年部が中心になって準備を進めています。

濱田英作 それ以外では市の消費者啓発CMについての見積り問い合わせが来ています。

中崎局長 中継局が稼働しはじめたら、鹿児島市南部方面の情報を扱う時間帯も作る予定です。また、西伊敷以外の商店街もラジオ番組に関しては興味を持っているところが多いように感じていますので、西伊敷商店街を中心に色んな商店街の情報も扱っていければと考えています。

7. その他連絡事項

次回番組審議会を平成25年8月18日 17:00より中崎宗治代表取締役社長宅にて開催する事を確認した。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① 自社放送：平成25年8月21日午前9時からの音楽番組の前半に特番で放送
- ② 書面の備置き：平成25年8月21日から、当該事項を記載した書面(議事録)を事務所へ備置き
- ③ インターネット：平成25年8月21日より当社インターネットのホームページに転載

以上

議事録作成 中崎 啓文